

町では、河川、海域などの水質や大気の状態を把握するため、毎年環境調査を実施しています。昨年度の調査結果は、下表のとおりでした。

河川水質調査結果

河川名	測定地点	pH (単位：なし)		BOD (単位：mg/ℓ)		SS (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)	
		5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
池田排水路	富士白苑付近	9.0	9.1	1.8	2.1	3	4	<0.5	<0.5
三沢川	富士白苑付近	8.8	8.8	1.9	3.3	2	4	<0.5	<0.5
嶋立川	嶋立橋	8.2	8.0	2.7	4.6	3	7	0.5	<0.5
血洗川	河口付近	8.4	8.2	2.5	3.2	4	2	0.5	<0.5
葛川	プリンスホテル付近	8.1	8.0	1.4	1.8	4	3	<0.5	<0.5
不動川	川尻公園付近	8.0	8.1	2.8	2.8	14	5	<0.5	<0.5
長谷川	スーパーヤオマサ付近	8.2	8.0	3.1	3.7	6	6	<0.5	<0.5
谷戸川	月京橋付近	8.5	8.6	4.2	11.0	5	10	1.3	<0.5
環境基準	-	6.5~8.5		5以下		50以下		-	

※数値は年度内平均値、<印は定量下限値未滿を示す。

海域水質調査結果

測定地点	pH (単位：なし)		COD (単位：mg/ℓ)		DO (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)		大腸菌数 (単位：CFU/100ml)	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
中央	8.2	8.2	3.8	1.8	8.1	7.9	0.5未滿	0.5未滿	45	52
漁港	8.2	8.2	3.8	2.2	8.3	7.3	0.5未滿	0.5未滿	31	88
港外	8.2	8.2	3.3	3.5	8.0	8.0	0.5未滿	0.5未滿	12	15
環境基準	7.8~8.3		2以下		7.5以上		無検出		300以下	

※数値は年度内平均値 ※大腸菌数は、令和4年度から新たに設定された環境基準

二酸化窒素濃度調査結果

測定地点	単位：ppm	
	5年度	4年度
図書館前	0.005	0.007
国府支所	0.008	0.008

※数値は1時間値の1日平均値
◎環境基準：0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

用語の解説

- ◎pH (ピーエイチ・水素イオン濃度)
溶液中の水素イオン濃度を表す記号で、水素イオン指数ともいう。
pHは、0から14まであり、7が中性、7を超えるとアルカリ性、7未滿が酸性となる。
- ◎BOD (生物学的酸素要求量)
水中の有機物質(汚物)が一定条件のもとで、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。
- ◎SS (浮遊物質)
水中に懸濁している固体や浮遊動物。
- ◎COD (化学的酸素要求量)
水中の有機物質が酸化剤によって、酸化されるときに消費される酸素の量。
- ◎DO (溶存酸素量)
水中に溶け込んでいる酸素の量。
- ◎n-ヘキサン (n-ヘキサン抽出物質)
水中に含まれている比較的揮発しにくい油状物質の量。
- ◎大腸菌数
水域の糞便汚染を示す指標。
- ◎ppm
濃度の単位で、100万分のいくつかであることを表す。
- ◎環境基準
人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。(いわゆる規制基準ではない。)

生ごみ処理機を使ってごみの減量化に取り組みませんか？ 体験用の生ごみ処理機を貸し出します 環境課 ☎(72) 4438

費用面や効果などが分からず、生ごみ処理機の購入をお悩みの方に対し、実際の使用感を試していただくモニター事業を実施します。この機会に生ごみ処理機を試して、ごみの減量化・資源化に取り組んでみませんか？

- ▶対象 次のいずれにも該当する人 ①町在住で、自宅に生ごみ処理機を設置し適正に維持管理できる方 ②生ごみ処理機を環境課窓口で受け渡しできる方 ③生ごみの計量などの調査・アンケートにご協力いただける方
- ▶貸出期間 約1か月 ▶貸出費用 無料(※使用に伴う電気代は自己負担)
- ▶申込方法 6月3日(月)から電子申請で受付
- ▶その他 貸出期間や申込み方法の詳細は、町ホームページで確認できますので、右記二次元コードからご確認ください。



ちょっと待った！ 外への避難 ~在宅避難のススメ~

近年、地震や集中豪雨などの自然災害が増加しています。災害時、避難所に向かわず自宅で避難する方法として「在宅避難」があります。

在宅避難とは、災害時においてご自宅が津波や洪水等による浸水、土砂の流出などの危険性がない場合、そのままご自宅で生活を送る方法です。

在宅避難は二次災害を避けられるほか、様々なメリットがあります。

災害時の在宅避難に備え、普段からの備蓄が必要になります。最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄を目安に、普段の食料品や生活必需品を少し多めに備えるなど、ローリングストックを心がけ、日頃からご自宅での避難生活ができるよう環境を整えておきましょう。

在宅避難の判断ポイント

- 【発災前】住んでいる場所は被害想定エリア内ですか？
住んでいる家は強固で安全ですか？
在宅用避難グッズが用意できていますか？
- 【発災後】電気、ガス、水道などは使えますか？
自宅の安全を確認できていますか？

ハザードマップを確認しよう！



周囲からのサポートが必要な場合は避難所に！

ハザードマップの確認はこちら



大磯
オンラインマップ



ハザード
マップ

在宅避難のメリット

- ・プライバシーを守ることができる。
- ・暑さ・寒さ対策がしやすい。
- ・ペットと避難生活を送ることができる。
- ・乳幼児や高齢の方など、立退き避難による負担を軽減できる。
- ・生活環境をコントロールできる。